

SNSで情報発信開始!

いろいろなツールを使って情報を提供し始めました

まさか、こんな時代が来るなんて思っていませんでした。
 アナログ時代に育った私です。そんな私が、携帯電話も「ガラ系」からスマートフォン(아이폰5S)にしました。それだけでも革命的なことなのに、ブログもツイッターもフェイスブックも始めました。
 パソコンやスマホを使ったこれらを総称してSNS(ソーシャル・ネットワーク・システム)というのですが、リアルタイムにどんな遠方の方とも情報のやりとりができます。実際、一番速くSNS仲間は、中南米コスタリカの日本人学校に赴任している学校の先生です。友人に勧められて最初に始めたのがフェイスブックでした。ところが、フェイスブックというのは、お互いに反対な関係になった相手との情報のやりとりが基本的なツールなので、議員としては、議員活動をもっと広く情報発信していったほうがいいとアドバイスされ、ほとんど同時にブログとツイッターも始めました。

ほんとうにすごい時代です。どんな情報でも、これらのSNSを使って発信すると、中には数秒で反応があります。しかも北海道から沖縄、中には海外から反応してきます。
 これらのツールの中で一番詳しく大量の情報発信をできるのがブログです。私はヤフーブログを利用していきます。もちろん写真も動画も添付できます。
 このブログをコンパクトにして、140文字以内で「つぶやく」のがツイッターです。
 ブログに記事や写真・動画をアップすると、フェイスブックにもツイッターにもブログが更新されたことが載ります。ですから、本格的な主張や意見はどうしてもブログが中心になります。
 つい最近始めたのにもかかわらず、ブログはもうアクセスが千五百件を超えています。フェイスブックの「友だち」は350人になりました。また、YouTubeでアップされ

日本共産党

こんにちは高畑です NO.16



《発行》

日本共産党小山町後援会
 高畑ひろゆき後援会
 〒 410-1304
 小山町藤曲 348-2
 TEL&FAX 76-2448
 PCアドレス
 k.ctakahata@oktncn.jp



上記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで取り込めば、高畑博行ブログを開けます。フェイスブックやツイッターの情報もぜひご覧下さい。



フェイスブック



ツイッター



YAHOO! JAPAN ブログ

た須走の大雪山レポート動画は80アクセスを超えました。
 この「こんにちは高畑です」のような新聞形式のブログ型の情報発信も今まで同様大切にしていきますが、63歳のおじさんが発信するSNSの情報も覗いたらぜひ覗いてください。よろしく願います。

議会レポート 3月議会 一般質問

いずれも全文ではなく、要約文です。

(1) 大規模災害の被害想定や避難計画に対する町の考えと、自主防災組織を基盤にした自助・共助の充実について

県は第4次地震被害想定、2次報告を公表しました。さらに、富士山防災対策協議会が富士山噴火時の広域避難計画をまとめました。そこで、大規模災害の被害想定や避難計画に対する町の考えと、自主防災組織を基盤にした自助・共助の充実について質問します。

Q 第4次地震想定、2次報告で、小山町関連で特徴的な点の受け止め方は？

A 相模トラフで発生する地震被害は大きいです。上水道の断水率は高いし、食料備蓄や毛布も不足します。今後、各家庭に徹底を促すと共に、毛布等の備蓄は順次進めていく考えです。

Q 富士山噴火時の広域避難計画における小山町関連で特徴的な点に対する考えは？

A 県内避難が基本であって、小山町の特性を勘案した広域避難計画になっている。

ません。降灰は町内全域50cm以上のため、全町民が町外避難を余儀なくされます。今後、より具体化した計画策定をしたいと考えています。

Q 12月に行っている地域防災訓練の参加者や特徴についてはどうか？

A 平成25年度は7千235人。役員職員の地域貼り付けは、訓練メニューのみを提供するようにしました。平成24年度は須走、平成25年度は北郷をモデル地区として訓練してきました。

Q 「自助」「共助」の最も身近な自主防災組織と防災訓練の内容の見直しの必要性はないのか？

A 組織役員の専門化、長期の役員就任など、自主防災組織の強化をお願いしています。訓練内容についてはより実践的な訓練になるように見直す必要があると考えております。

Q 町は「避難行動要支援者名簿」を作成していますが、プライバシー保護の問題はあるにしても、今以上に周知徹底する意味で、情報の共有・拡大は考えないか？

A 町と自主防災会連合会、民生児童委員会の三者で平成22年に情報の共有に関する協定を締結し、各自治会の班長クラスまで共有しています。また、毎年、自主防災長さんには説明しております。

Q 各家庭の防災グッズや各区の防災備品の備蓄の充実を図っていく指導も重要だと考えるのだが、どう考えているか？

A 各家庭の防災グッズや各区の防災備品の備蓄の充実が重要です。ホームページや広報おやまなどを通して啓発していきたいと思えます。また、自主防災連合会総会や区長会などにおいても啓発していきたいと考えています。

Q 非常持ち出し品などの準備の啓蒙は必要です。ホームページや広報おやまだけでなく、少々経費はかかっても、パンフレットの新たな作成等をしていったほうがいいと思っているのだが。

A 効果があるのなら、県の資料の抜粋を作成して配布していきたいと考えております。

26年度一般会計予算案に反対

3月議会最終日、議案第13号 平成26年度小山町一般会計予算案について、反対討論を行いました。概要は以下の通りです。

内陸フロンティアを拓く取組にからむ三来拠点の開発を中心に4つの分野に予算の重点配分をしたということが、以下の点で疑問点がある。

- ① 三来拠点の開発の一方で、小山町が抱えている課題である旧小山地区（成美・明倫地区）の地盤沈下に有効な手を打つ施策が見い出せない。
- ② 定住人口拡大策としていくつか挙げているが、決定打に乏しい。これではますます人口減少に歯止めはかけられない。
- ③ 生活道路の整備にかける予算が不十分である。町道・生活道路がたいぶ痛んでいる現状を考えた時、一番身近な生活道路補修を急ぐべき。
- ④ 北郷・足柄放課後児童クラブの移転展望がない。町内循環バスからコミバスに移行する詳細の説明がないまま、予算立てをしている。「ホテルの里」事業は果たして必要か？

以上の理由を述べて、一般会計予算案には反対しました。他の特別会計は賛成しました。

きたこうこども園が完成

きたこうこども園舎が完成し、3月26日に落成式を行いました。0歳から5歳まで23人の大所帯となります。こども園は、長時間利用児（保育園児）と短時間利用児（幼稚園児）を同時に預かる施設です。

町内では初めてのこども園であること、長児、短児を一緒に面倒みるわけなので、予期せぬ問題点も今後発生し得ます。

しかし、いすれにしても、保育の質を落とさない努力はしていかなくてはならないと考えます。



和田坂拡張工事が進む

和田坂の工事が行われていたことが、小山中学校横の忠霊塔の下の部分の拡張工事が完成に近づいています。和田坂は、今までたいへん狭い道路で、バスが登れない難点がありました。役場担当課に聞くと、この道路は、

一気に拡張できるわけではなく、予算との関係で、順次、役場前から小山中学校までと、忠霊塔から豊門公園入口までの道路拡張をしていくと言っています。また情報が入りましたらお知らせしていきます。



政務活動費の報告をします

平成25年度の政務活動費の報告をいたします。詳しくは、五月以降、役場で閲覧できます。

◆収入の部		
政務活動費		150,000
利息		7
合計		150,007
◆支出の部		
調査研究費	山梨視察研修	18,698
	青森北海道視察	76,310
研修費	地方自治研修会	2,900
資料購入費	書籍・資料代	49,099
事務費	ファイル他	3,000
合計		150,007

※ 実際はこの範囲では不足しましたので、自己負担して調査・研究等を行いました。

小山町民のここが問題

小山町の乳児のむし歯罹患率が高い

小山町のむし歯罹患率（H23）は、3歳児健診では27%であり、県平均14%よりはるかに高く、幼児期のむし歯対策が必要で。特に、3歳児健診において、むし歯が5本以上ある児は64%と、重症者が多いことが「健康づくり推進協議会」で報告されました。

町内の幼児を持つパパママ、子どもさんの歯磨きを頑張ってください！

県最下位の「お達者度」

県が発表した「お達者度」で、小山町は女性が35自治体の中で最下位。男性は30位と、たいへん厳しい結果が示されました。「お達者度」は健康長寿のひとつの目安であるといいますが、県の算出方法は橋本藤田保健衛生大学教授の算定プログラムにより、65歳以降の要介護2〜5でない「自立している（お達者である）」方の比率を出したものです。

小山町の高齢者の「お達者度」を上げるには、積極的に体力測定会などに参加したり、老人会の活動や、今年から始まる健康マイレージ事業に参加する等、元気に外に出て体を動かしたり、会話を楽しんだりすることが必要なのでしょう・・・。

4月は値上げラッシュ

4月1日から消費税が5%から8%に引き上げられます。それに伴ってさまざまな料金が値上げされます。春闘で賃上げの動きもありましたが、物価上昇に賃金が追い付いておらず、家計にとって厳しい春となりそうです。

●消費税が5%から8%へ	●病院の初診料 2700円→2820円
●携帯・固定電話料金に新税率適用	●病院の再診料 690円→720円
●はがき 50円→52円	●70～74歳の医療費自己負担率 1割→2割
●封書 80円→82円	●国民年金の減額 月6万4875円→6万4400円
●NHK受信料 1225円→1260円	●国民年金保険料値上げ 月1万5040円→1万5250円
●鉄道、バス、タクシー運賃値上げ	●電力10社が料金値上げ
●輸入小麦 2.3%値上げ	●大手ガス4社が料金値上げ
●マック、吉野家牛丼値上げ	
●ガソリン1リッター5円値上げ	
●世帯年収910万円以上の家庭は高校無償化廃止	

1～3月の主な活動日誌

1月

- ◆2 成美地区年賀健康マラソン
- ◆6 買詞文教会
- ◆6 議会広報特別委員会
- ◆11 消防出初式
- ◆12 成人式、富士山世界遺産まつり
- ◆14 議会広報特別委員会
- ◆18 元消防団長を祝う会
- ◆19 町内一周駅伝大会、裾野市議補選告示
- ◆24 党全県地方議員会議
- ◆26 おやま町民会議卓話
- ◆27 党大会報告集会
- ◆28 住民の会
- ◆31 社会福祉協議会評議員会、駿東郡議長会全員研修会

2月

- ◆2 映画「カンタ・ティモール」上映会（県東部教職員組合主催）
- ◆3 都市計画審議会
- ◆5 議員懇談会、成美地区協議会
- ◆7 駿東郡広域研修会（清水町）
- ◆14 議員懇談会
- ◆16 県議会（静岡グランシップ）
- ◆18 住民の会
- ◆21 3・1ピキニデー実行委員会訪問
- ◆25 3月議会開会
- ◆26 本会議（予算補足説明）

3月

- ◆4 本会議（予算質疑）
- ◆5 消防ポンプ自動車配備式
- ◆6 本会議（一般質問）
- ◆7 福祉事業所「わかば」開所式
- ◆11 文教厚生委員会
- ◆14 小山町健康づくり推進協議会
- ◆16 地区党会議（沼津）
- ◆18 本会議最終日
- ◆19 本会議会期延長、駿河小山幼稚園卒園式
- ◆20 小山中卒業式、成美小卒業式
- ◆21 住民の会
- ◆22 いきど保育園卒園式
- ◆23 小山町観光協会設立50周年記念式典
- ◆24・25 林業活性化議員連盟視察（天竜市・浜岡原発）、当局との意見交換会
- ◆26 きたこうども園落成式
- ◆27 社会福祉協議会評議員会

大雪被害で情報発信



雪でつぶれたカーポート (藤曲)

2月14・15日の大雪被害は大変なものでしたが、当面は自宅の近所を見回り、自宅前と横の除雪作業をこ近所のみなさんと一緒になって懸命に行いました。こ近所では、車庫やカーポートの屋根がつぶれたり、木や竹はあちらこちらで折れる被害が目立ちました。
数日たって、一時は孤立状態になった須走地区に入り、2度に渡って「聞き取り調査」をし、被害状況をユーチューブにアップロードしました。この情報発信した動画は3月末で、1回目の動画が38アクセス、2回目の動画が47アクセス、3回目の動画が85アクセスあり、それだけ多くの方々が小山町の被害状況を知りたくて被害状況報告の動画を観てくださったことになりました。

雑記帳

高畑くんのひとりごと

◆今年も全県の「9条の会」がよびかけて、5月3日の憲法記念日に朝日新聞一面を使って「守ろう！憲法9条」の意見広告を載せます。私も協力しました。

◆御殿場・小山9条の会は、5月22日に東京平和バスツアーを企画しています。第五福竜丸、東京大空襲資料センター、靖国神社内遊就館を見学する内容で、参加料は六千円です。

◆東富士へのオスプレイ飛来・配備・訓練に反対する御殿場・裾野・小山の住民の会が一周年のつどいとして、4月20日(日)に御殿場市民交流センター(ふじざくら)で映画「標的の村」の上映会を開催します。ぜひ参加ください。

◆庭にある小さな畑やプランターで楽しんでいる家庭菜園や、鉢やポットに植えた花々…。いよいよ本格的な春の訪れとともに、やるが多くなり。わくわく感があります。

◆議員になって3年。この間に、同じ議員仲間や熱心に私を支援してくださった方が多く他界しました。それらの方々の期待を裏切ることにならないように、しっかり頑張っていこうと思っています。

◆議会の会期中は、どうしてもデスクワークが多くなり、運動不足になります。教師の現役時代は生徒と一緒にバレーボールで汗を流していましたが、今ではウォーキング程度になってしまいました。

◆家内がフラワーアレンジメント教室に行って作品を作り、自宅の玄関に飾る。私はそれをデジカメで撮り、ブログやフェイスブックにアップする。「いいね」の反応が嬉しいです。

◆今年の卒園式・卒業式はどこも感動的な式ばかりでした。先生方と子どもたちが織りなしてきた園や学校での「絆」が、こういう感動で締めくくられることをすばらしいと感じました。

新しい視点 展望しめす

しんぶん 赤旗

日刊紙●月3,400円
日限版●月 800円

日刊紙も日限版も町内どこでもお届けできます。お申し込みは下記まで。

高畑 (76)2448
加藤 (76)3839

